

移住者・日系人支援

海外移住者を支援し、定着・生活安定をはかる



海外移住資料館を見学する仙台の中学生

移住者・日系人支援の現況

戦後の日本人の海外移住は、1952年のブラジル・アマゾン移民から再開されました。現在、海外の移住者・日系人の総数は260万人を超えるといわれ、彼らはさまざまな分野で移住先の国の発展に寄与していま

す。彼らの存在により緊密な二国間関係が築かれ、成熟期を迎えた日系社会においては、移住者・日系人はいまや国際協力の重要なパートナーとなっています。

おもな事業内容

JICAでは、移住者・日系人の活動を紹介することで、海外移住と日系社会に対する国民の理解を深めるための知識普及をはじめ、移住者の定着・生活の安定に向けたフォローアップとして、日本語教育を含む移住者子弟の人材育成や高齢者福祉対策などに重点を置いて、側面から彼らを支援するとともに、日系社会ボランティアの派遣と日系研修員の受入れも行っています。

および日本語調査研究に対する助成、スペイン語圏の年少者向け日本語教科書の開発などを実施しています。汎米日本語教師合同研修会は、2004年度から毎年ブラジルのサンパウロで開かれることとなり、2006年度は30人が参加しました。

施設などの整備：社会福祉・生活基盤整備への支援として、2006年度はパラグアイの2診療所とボリビアの1診療所の医療機材購入を助成しました。

広報活動

海外日系人大会後援

海外移住資料館の運営管理：2002年10月、JICA横浜内に海外移住資料館と海外移住関係図書資料室を開設しました。資料館では、「われら新世界に参加す」を基本テーマに、日本人の海外移住の歴史や日系社会の発展などについて展示しています。広く一般の人々、特に次代を担う若い世代に知識を広め、海外移住者・日系人への理解を深めてもらうことが目的です。

さらに、2006年度はドミニカ共和国移住者に対する特別支援策として、学生寮の無償譲渡、学生寮の多目的化のための改築、高齢者医療衛生対策事業および大学生奨学金支給事業の基金への助成、若手リーダー短期本邦研修を実施しました。

移住者子弟の人材育成

日系社会リーダー育成：将来の日系社会を担うリーダーとなり得る人材を育成するために、日本の大学院に留学する学生に対して滞在費、学費などの手当を支給しています。2006年度の新規受入れは14人です。
日本語学校生徒研修：海外の日系団体が運営する日本語学校から優秀な生徒を日本に招き、中学校への体験入学、ホームステイなどを通じて日本の文化、社会を理解してもらい、日系社会の次代を担う人材を育成しています。2006年度の受入れは49人です。

移住先の国での支援

営農普及：営農の技術向上のため、農業先進地で研修を実施し、農業研究グループの育成などを助成しています。

医療衛生対策：パラグアイ、ボリビアにある5つの移住地診療所の運営、ブラジル奥地の散在移住地への巡回診療などを助成しています。

教育文化対策：日本語教育対策として、日本語教師を養成・確保するために、国別教師合同研修会、教師謝金、教材等購入費、中南米地域などの現地日本語教師を対象とした汎米日本語教師合同研修会

事業資金の貸付

移住者の定着・生活の安定を目的とした融資事業は、2005年度をもって終了しました。